

社会学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
必修 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

Nationalism(ナショナリズム)とは、nation(ネイション)への肯定的なこだわりを指し、「国家主義」「国民主義」「民族主義」「国粋主義」などと訳される。現代社会でナショナリズムは、大きな難問といえる。そこで、ネイションをめぐる問題をゼミ生と一緒に考えていく。

また、後期にはゼミ生各自が自分自身のテーマで報告を行う予定である。

2. 授業の到達目標

- ①多様な価値観を持った社会の成員が存在することを理解し、包摂できる社会を構想できる
- ②現代社会の諸問題について他者と意見を交換し、自他の意見を深めて結論を導くことができる
- ③収集した資料を論理的に読み解き、客観的な視点よりそれぞれの解決手法の評価を行い、課題の解決案を考え出すことができる
- ④個人的な意見と根拠に基づく知識との違いを理解したうえで、自分の考えを表明することができる
- ⑤第三者が理解できるようにプレゼンテーションを行うことができる

3. 成績評価の方法および基準

報告、議論への参加度合い(50%)、学期末レポート(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

植村和秀 『ナショナリズム入門』2014 講談社現代新書

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を事前学習すること。

MELICで図書を検索し借りること。

6. その他履修上の注意事項

欠席しないこと。

授業への参加が前提である。

質問・コメントする等の参加が望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 報告の分担決め |
| 【第3回】 | 報告と討論(1) |
| 【第4回】 | 報告と討論(2) |
| 【第5回】 | 報告と討論(3) |
| 【第6回】 | 報告と討論(4) |
| 【第7回】 | 報告と討論(5) |
| 【第8回】 | 報告と討論(6) |
| 【第9回】 | 報告と討論(7) |
| 【第10回】 | 報告と討論(8) |
| 【第11回】 | 報告と討論(9)(オンライン授業) |
| 【第12回】 | 報告と討論(10) |
| 【第13回】 | 報告と討論(11) |
| 【第14回】 | 報告と討論(12) |
| 【第15回】 | 授業のまとめ |